

## 第1回

## 伊能図で見る地形

—海岸—

5月26日(火)～7月20日(月)

日本列島の海岸線の延長は3万キロメートルをこえ、属島を除く北海道、本州、四国、九州でも1万9000キロメートルにもなります。日本列島をとりまく海岸は大きく岩石海岸と砂浜海岸に分類されます。本展示では、伊能忠敬が作成した沿海地図に、これらの地形がどのように描かれているかを紹介します。



左：自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図十四之三(岩石海岸が続く能登半島北部)  
右：自江戸歴尾州赴北国到奥州沿海図七(長い砂浜海岸が続く遠州灘)

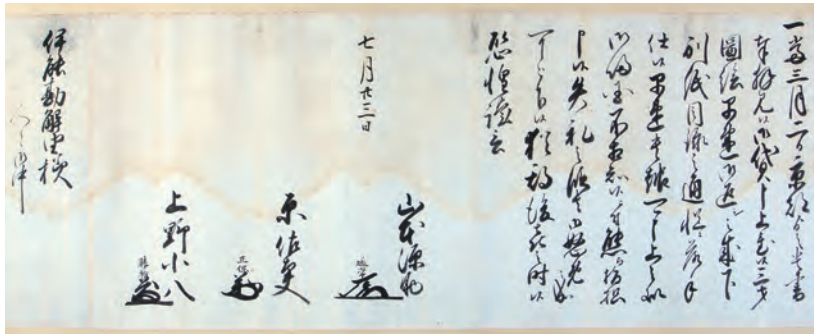
## 第2回

## 忠敬と大名家

—全国測量の協力者たち—

7月28日(火)～9月23日(水)

江戸時代後半、西洋の学問や文化に影響を受けた大名家やその家臣たちのなかには、新たな方法を携えて全国を測量してまわった忠敬に強い関心を抱く者が現れました。また、本来は一庶民であった忠敬が、幕府の命を受けて全国測量を実施する過程では、さまざまな困難と助力がありました。各地を治める大名家(藩)との間で、忠敬はどのように振る舞い、大名家はそれをどのように受け入れたのか。本展では、大名家と忠敬のかかわりを紹介します。



左：山本源助他書状(忠敬と福岡藩士山本源助は、地図や書籍の貸借を行っていました)  
右：細川越中守領分肥後国戸北郡佐敷庄日奈久郷村々海辺并街道絵図(九州測量中に入手したと考えられる熊本藩領の絵図)

## 第3回

## 測量器具勢ぞろい

—国宝の器具類—

9月29日(火)～11月23日(月)

当館所蔵の伊能忠敬関係資料のなかには、忠敬が全国測量の過程で実際に使用した測量器具の大部分が残されている国内有数のコレクションです。これら測量器具はいずれも、当時の測量技術と器具製作技術をうかがう上で極めて貴重であり、地図その他の資料とともに、平成22年6月29日に国宝に指定されました。通常展示していない国宝の測量器具の現物を一堂のもとで紹介する、1年に1度の企画展です。



左：量程車【全体】(距離を測るための道具)  
右：わんからしん【全体】(忠敬が開発させた方位磁石)

**展示ガイドツアー** 係員がご来館の皆様と共に館内を回りながら、常設展示の解説を行います。日時：土日祝日午後2時15分～(25分程度)

開館時間 午前9時～午後4時30分(午後4時頃までに入館してください)  
休館日 毎週月曜日(国民の祝日・6月1日・8日・15日・22日は除く)、  
入館料 大人500円(450円)／小・中学生250円(200円)  
※( )内は15人以上の団体料金  
※65歳以上の人は450円  
(証明できるものをご提示ください)

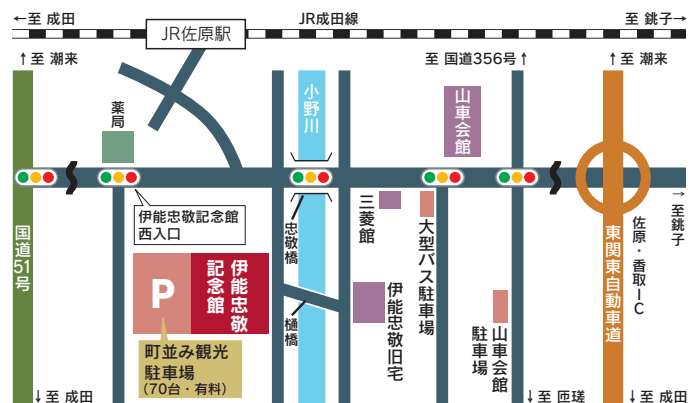
交通案内

【自動車】東関東自動車道「佐原・香取インターチェンジ」から15分  
国道51号線 通称山之辺交差点から5分  
【電車】JR佐原駅下車、徒歩10分

伊能忠敬記念館

〒287-0003  
千葉県香取市佐原イ 1722-1  
電話 0478-54-1118  
FAX 0478-54-3649

[www.city.katori.lg.jp/museum/](http://www.city.katori.lg.jp/museum/)



※バスは、大型バス駐車場または山車会館駐車場に駐車してください。  
町並み観光駐車場は普通車のみ駐車できます。